

事業報告書

本年度は各事業が滞りなく行なわれるよう基本的な事業を中心に組み組んで参りました。

研究助成事業は、サウンド技術振興部門に39件の応募がありその中から10件、また音楽振興部門は11件の応募がありその中から5件に助成金を交付致しました。

音楽普及支援等事業は音楽普及を目的にピアノ演奏家を招聘し、ピアノ演奏特別レッスンを開催致しました。

講演会等事業は、研究助成テーマから8件を選んで講演会を開催致しました。

機関誌「サウンド」は第31号を発刊し、本年度助成受賞者から6名の方々に執筆を頂くと共に、今日までの助成研究テーマ等を掲載して広報に努めております。調査研究事業はサウンド技術と音楽に関する技術調査を行いました。

以下、事業経過の概況をご報告申し上げます。

1. 研究助成事業

1) 平成27年度研究助成

平成26年12月より平成27年2月27日までを期間とし、全国の国公立大学、私立大学等の研究機関及び過去の助成申請者等700件余へ機関誌「サウンド」第30号と助成案内を送付して募集活動を行なうとともに、音響学会誌、電子情報通信学会誌等及び財団ホームページを通じて広報に努めた。

その結果サウンド技術振興部門は34個所の大学等研究機関より39件の応募を得て事前書類審査を踏まえ、5月11日開催の審査委員会にて10件を選定した。音楽振興部門は9個所の大学等研究機関より11件の応募を得て事前書類審査を踏まえ、5月20日開催の審査委員会にて5件を選定した。

理事長にこれを報告し承認を得て、平成27年6月18日東京ガーデンパレスにおいて助成金贈呈式を行なった。

助成受賞者は次の通りである。(所属・役職 は申請当時、応募受付順)

【 サウンド 技術振興部門】

- (1) 屋外拡声音声品質の文章了解度をブラインド 予測する手法の開発
都城工業高等専門学校 電気情報工学科
助教 小林 洋介
- (2) パブリック・スピーキングの音響分析：日本人の国際的発信力強化に向けて
九州大学大学院 芸術工学研究院
助教 山下 友子
- (3) 異なる習熟度に対応したバイオリン運指推定に関する研究
名古屋工業大学大学院 工学研究科 情報工学専攻
助教 酒向 慎司
- (4) 複雑形状物体および運動変形する物体を含む流れから発生する空力騒音の
直接数値シミュレーション法の確立
東北大学 流体科学研究所
教授 服部 裕司
- (5) 超音波照射により 駆動する 血管内ステント モータの開発
東京農工大学 機械システム工学
専攻・学科 助教 西澤 宇一
- (6) 音声のプロソディ 知覚と 読み能力の関連について：発達性ディスレクシア
を通じた検討
北海道大学大学院 教育学研究院 附属子ども 発達臨床研究センター
研究員 岩田 みちる
- (7) 人工内耳装用者が音楽を楽しむために編成した演奏を収録する方法とその
効果の研究
静岡大学 情報学研究科
名誉教授 北澤 茂良
- (8) 野生コウモリ から 学ぶ長距離ナビゲーションアルゴリズム
同志社大学 生命医科学部
助手 藤岡 慧明
- (9) 歯骨伝導に着目した音響情報の聴取と 取得
早稲田大学 基幹理工学部 表現工学科
教授 及川 靖広
- (10) 音源合成手法によるイングリッシュ・ハンドベルの製作
木更津工業高等専門学校 電子制御工学科
准教授 泉 源

【音楽振興部門】

- (1) 幼稚園・保育所・家庭において幼児が親しんでいる音楽の分析-童謡・唱歌離れ現象をめぐって-

筑波大学 医学医療系
准教授 水野 智美

- (2) BBC Proms が英国の音楽振興に与えたインパクト

京都産業大学 経営学部
教授 大木 裕子

- (3) ムーソルグスキイの歌曲におけるロシア語イントネーション模倣の諸相

広島大学大学院 教育学研究科
博士課程後期 竹下 可奈子

- (4) 声楽技術習得におけるピラティス・メソッドの有効性-呼吸と身体-

沖縄県立芸術大学 芸術文化学研究科
芸術文化学専攻1年 本間 千晶

- (5) 梵鐘の音響解析に基づく作曲技法の研究 -黛敏郎のカンパノロジーを題材として-

東京藝術大学大学院 音楽学部音楽研究科
専門研究員 西岡 瞳

2) 助成研究成果報告概要の配信

平成26年度助成受賞者からの助成研究結果報告をとりまとめ、財団ホームページから配信した。

3) 平成28年度研究助成募集活動

平成27年12月より平成28年2月29日を締切日とし国公立大学及び主な私立大学のほか過去の助成申請者等に対して募集活動を実施した。

2. 音楽普及支援等事業

1) 第5回音楽普及支援等事業

音楽普及を目的にピアノ演奏家を招聘し、若手ピアノ演奏家を対象にピアノ演奏の公開レッスン、及び個人レッスンを開催した。財団ホームページを通じて広報、及び募集を行い受講枠が全て埋まった。公開、及び個人レッスンの内容は以下の通りである。

名 称 アンドレイ ピサレフ ピアノ演奏 特別レッスン

・公開レッスン

開催日 平成27年6月19日

会 場 カワイ表参道 2階 パウゼ

講 師 アンドレイ ピサレフ

受講枠 2 (受講者2名)

聴講者 40名

受講費 無料

聴講費 無料

・個人レッスン

開催日 平成27年6月20日、21日

会 場 カワイ表参道 3階 スタジオA

講 師 アンドレイ ピサレフ

受講枠 11 (受講者11名)

受講費 無料

3. 講演会等事業

1) 研究助成受賞者講演会

名 称 第28回研究助成講演会

後 援 経済産業省

開催日 平成27年10月15日(木)

会 場 カワイ表参道 2階 パウゼ

聴講者 60名

演 題 研究助成テーマより (講演順)

【音楽振興部門】平成27年度研究助成テーマ

梵鐘の音響解析に基づく作曲技法の研究 -黛敏郎のカンパノロジーを
題材として-

東京藝術大学大学院 音楽学部音楽研究科

専門研究員 西岡 瞳氏

【サウンド技術振興部門】平成23年度研究助成テーマ

グラスハープに関する研究 -音色の伝説の謎に迫る～工学的・歴史
学的試み-

国際基督教大学、東邦音楽大学、日本大学理工学部大学院 講師

生態工学会理事 田村 治美氏

【音楽振興部門】平成23年度研究助成テーマ
ピアノとライブ・コンピュータ・システムの為の作品創作、及びその
初演 インタラクティブ・コンピュータ音楽実現手法
桐朋学園大学、四川音楽院 非常勤講師
作曲家 菜 孝之氏

名 称 第29回研究助成講演会
後 援 経済産業省、浜松市、浜松商工会議所
期 日 平成28年1月12日(火)
会 場 アクトシティ浜松研修交流センター 6階 62研修交流室
聴講者 60名
演 題 研究助成テーマより (講演順)

【サウンド技術振興部門】平成26年度研究助成テーマ
電子ピアノの直接伝達振動/騒音のアクティブ減振 ～減振と加振～
熊本大学大学院 自然科学研究科
教授 森 和也氏

【音楽振興部門】平成26年度研究助成テーマ
伝統的な歌唱を稽古する子どもの歌い方の分析 ―学校教育における歌
唱モデルの構築に向けて―
静岡大学 教育学領域 音楽教育系列
准教授 長谷川 慎氏

【音楽振興部門】平成25年度研究助成テーマ
多種の音律に調律されたポルタティーフオルガンとシンセサイザーに
よる空間的効果の研究とその研究に基づいた作品創作
福井大学 教育地域科学部
准教授 星谷 丈生氏

【サウンド技術振興部門】平成23年度研究助成テーマ
福祉工学への応用を目指したヒトの聴覚情報における共鳴現象の基礎
的検討
東京電機大学 理工学部電子・機械工学系
准教授 田中 慶太氏

【サウンド技術振興部門】平成27年度研究助成テーマ
人工内耳装用者が音楽を楽しむために編成した演奏を収録する方法と
その効果の研究
静岡大学情報学研究科
名誉教授 北澤 茂良氏

4. 情報の提供等事業

平成27年度研究助成受賞者である都城工業高等専門学校助教 小林洋介氏、九州大学助教 山下友子氏、東北大学教授 服部裕司氏、北海道大学非常勤研究員 岩田みちる氏、広島大学後期博士課程 竹下可奈子氏、沖縄県立芸術大学 本間千晶氏から執筆を頂き、機関誌「サウンド」第31号を編集し平成28年1月発行して大学等関係機関、国立国会図書館、過去の助成申請者等650件余へ配布した。

5. 調査研究事業

発音素材、及び試聴感に関する技術調査研究を実施した。

6. 評議員会・理事会等の開催

1) 第9回理事会

(1) 期日及び場所

平成27年5月13日(水) カワイ表参道

(2) 附議事項

第1号議案 平成26年度事業報告(案)・収支計算(案)の承認に関する件

第2号議案 平成27年度収支予算の修正に関する件

第3号議案 評議員会招集に関する件

第4号議案 議事録署名人の選任に関する件

(3) 議事進行要約

①第1号から第3号議案については、事務局が逐条説明を行い、異議なく全会一致で承認可決された。

②第4号議案については、議長が説明を行い、監事が指名された。

議事録署名人 河崎 哲男氏 鷺津 有一氏 (50音順)

2) 第5回評議員会

(1) 期日及び場所

平成27年6月18日(木) 東京ガーデンパレス

(2) 附議事項

第1号議案 平成26年度事業報告(案)・収支計算報告(案)の承認に関する件

第2号議案 平成27年度事業計画(案)・収支予算(案)の承認に関する件

第3号議案 評議員、理事、及び監事選任に関する件

第4号議案 議事録署名人の選任に関する件

(3) 議事進行要約

①第1号、第2号、第3号議案については、事務局が逐条説明を行い、異議なく全会一致で承認可決された。

②第4号議案については、議長が提案を行い、異議なく全会一致で選任され、両評議員もこれを了承された。

議事録署名人 宮澤 彰氏 村上陽一郎氏 (50音順)

なお、この折り平成26年度研究助成金の贈呈式を併催した。

3) 定款第35条に基づく決議提案 (第10回理事会)

(1) 提案

第1号議案 特定個人情報取り扱い規定承認の件

(2) 結果

第1号議案 特定個人情報取り扱い規定承認の件は、書面、又は電磁的記録により理事全員から同意の意思、及び監事全員から異議がない意思が示され、平成27年12月25日に当該提案の理事会決議があったものとする第1号議案は可決されたとみなされた。

4) 定款第35条に基づく決議提案 (第11回理事会)

(1) 提案

第1号議案 調査研究事業承認の件

(2) 結果

第1号議案 調査研究事業承認の件は、書面、又は電磁的記録により理事全員から同意の意思、及び監事全員から異議がない意思が示され、平成28年1月27日に当該提案の理事会決議があったものとする第1号議案は可決されたとみなされた。

5) 定款第35条に基づく決議提案 (第12回理事会)

(1) 提案

第1号議案 調査研究事業説明文修正の件

(2) 結果

第1号議案 調査研究事業説明文修正の件は、書面、又は電磁的記録により理事全員から同意の意思、及び監事全員から異議がない意思が示され、平成28年3月5日に当該提案の理事会決議があったものとする第1号議案は可決されたとみなされた。

6) 第13回理事会

(1) 期日及び場所

平成28年3月15日(火) カワイ表参道

(2) 附議事項

第1号議案 平成28年度事業計画(案)及び収支予算(案)に関する件

第2号議案 議事録署名人の選任に関する件

(3) 議事進行要約

①第1号議案については、事務局が逐条説明を行い、異議なく全会一致で承認可決された。

②第2号議案については、議長が説明を行い、監事が指名された。

議事録署名人 村上 二郎氏 鷺津 有一氏 (50音順)

7. 庶務事項

1) 内閣府への提出書類

(1) 平成27年6月25日、公益目的支出計画実施報告書等の提出に係る申請書類のうち、次のものを電子申請により提出した。

①実施事業(公益目的事業)の状況等

②公益目的支出計画実施期間中の収支の見込みについて

③当該事業年度の貸借対照表及び附属明細書

④当該事業年度の損益計算書及び附属明細書

⑤当該事業年度の事業報告及び附属明細書

⑥当該事業年度の監査報告、会計監査報告

⑦当該事業年度の公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告

⑧当該事業年度の正味財産増減計算書内訳表

(2) 平成27年12月20日、公益目的支出計画実施報告書等の提出に係る申請書類のうち、次のものを電子申請により提出した。

①貸借対照表に関する注記

②事業の実施状況についての概要補足

2) その他

(1) 寄附金として、平成28年2月3日に株式会社木伏電気工業所より2万円を受理した。